

JA東京みなみ自己改革取組宣言

～これまでも、これからも、地域とともに
JA東京みなみは「総合事業」を展開します～

➤「未来へ続く東京農業の確立」と「未来を担うJAの経営力強化」の方針のもと、「都市農地の保全」、「農業の担い手の維持と拡大」、「信頼の確保」、「事業の再構築」、「体制の強化」、「財務の安定性」に取り組みます。

➤このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんと話し合いを深めます。

➤そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いを叶えていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、「地域農業の応援団」として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や農業関連施設・設備への投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いを叶える取り組みを支えています。

主な取り組みは次の3点により紹介します。

JA東京みなみの営農指導事業の予算額は、総額 30,463 千円となっています。

1. 都市農地の保全と都市農業の振興促進

都市農地保全に向けた取り組みとして、組合員との対話を通じて、十分な意向確認を行い、特定生産緑地の指定促進を図ります。また、TACによる定期的な農地巡回を行い、未利用農地等の有効活用に向け、生産緑地の実態把握と営農支援体制の充実に努めます。

- ①農地把握システムの導入
- ②農地貸借のマッチング支援
- ③高齢化や担い手不足による営農支援

◇都市農業振興・保全費予算額 600 千円（農地把握システム利用料等）

◇担い手支援対策事業費予算額 1,340 千円(営農支援事業対策費・援農ボランティア支援事業等)

2. 農業生産の拡大と農業の担い手支援

農業生産の拡大に向けて新技術や資材等を活用した生産効率化や農作業負担軽減を提案します。また、日野万願寺直売所「みなみの恵み」を中心として、販売力の強化や地域農畜産物のブランド化による付加価値の増大、GAP制度の理解と普及により、より良い農業生産を目指します。

①TACによる新技術や省力化資材等の提案（「超セール」等の実施）

②生産履歴記帳システム等（GAP制度）の指導

③行政等の多様な組織と連携し、新たな6次化商品の開発

◇地域ブランド確保・推進事業費予算額 1,550 千円（6次化検討・製作等）

◇支部活動費予算額 7,248 千円

3. JAとしての社会的信頼の確保

地域密着型広報活動により、食農教育を含めた都市農業の重要性をPRして、社会的価値の向上に向け積極的に情報発信を行い、地域拠点活動を展開していきます。

①JAアグリパークでのイベント開催

②産業まつり等への参加と都市農業のPR

③少年サッカー大会等の開催による地域住民等との連携

◇都市農業振興・PR事業費予算額 1,780 千円（JAアグリパークイベント・管内産業まつり助成金等）

◇地域コミュニティ活性化事業費予算額 1,000 千円（少年サッカー大会・夏休みこども村等）

◇地産地消推進事業費予算額 2,160 千円（直売所イベント助成金等）

*具体的な取り組みは、別紙の次期中期計画や自己改革工程表をご覧ください。